山陽新聞２０１２年６月２９日朝刊

さとう人海が二〇一一年九月（第２回）個人質問で提案した釜石小学校への視察に六十五万円予算がつき、岡山市の中小学校の教頭等５名が行きました。

東日本大震災で児童生徒犠牲なし

# 教育現場取り組み学ぶ

## 市内小中教頭ら 岩手・釜石を視察

岡山市内の5小中学校の教頭らが28日、東日本大震災で被災した岩手県釜石市の視察に出発した。現地で伝えられてきた「津波てんでんこ」（ばらばらでいいから逃げろ）の教えを生かした教育現場の取り組みを学ぶため、30日に帰岡する。

一行は岡山市教委が防災モデル学区に指定している東区西大寺中学校区の西大寺中、西大寺南小、西大寺小、豊小、雄神小の各教頭5人と市教委職員1人。JR岡山駅から新幹線で出発した。西大寺中の池上博通教頭は「現地での取り組みを岡山に持ち帰り、教育現場で生かしたい」と話した。

この日は釜石市教委や大平中学校（同市大平町）を訪れ、震災当日の避難状況や避難所運営について説明を受けた。滞在中、避難所となった岩手県陸前高田市の寺院なども訪れる。

釜石市の小中学校は津波発生時、児童生徒が高台へ避難して一人も犠牲にならず、「釜石の奇跡」と言われた。

（田井香菜子）

岩手県釜石市の視察に出発する市内小中の教頭ら